

ジェンダー平等と 地域防災力の強化 ～共感による資源調達力向上を 目指して～

ジェンダーと防災に関する有識者懇談会（内閣府）

平成29年5月18日

跡見学園女子大学

鍵屋 一

本日のプレゼン概要

災害時は、性差により課題が増幅、顕在化する



資源不足の中で性差の課題解消を図るよりも、**資源調達力**（受援力）が**不足**している課題に置き換える



広く薄く調達できる**非制度的支援**の拡充が重要



「**共感**」をいかに社会に広げられるかが肝



共感力の高い人（女性）が資源調達力の要



性差が大きく資源調達力が弱い地域ほど、ジェンダー平等は地域防災力を高める

災害時 女性のリスクを拡大する要素

- 外的環境

女性に必要な物資・情報不足、

ハラスメント、犯罪の多発

⇒安全とプライバシー確保が重要

- 内的環境

女性、男性に性差の役割意識が残存

女性が発言しにくい地域性がある

⇒男女共同参画の普及啓発が重要

リスクの縮小を阻むもの

- 外的環境

⇒女性用物資を備蓄すると他物資の備蓄縮小

⇒避難所に女性用スペースを作ると、収容人数や他者のスペースが少なくなる

- 内的環境

意識、地域性の改革に時間がかかる

⇒災害時には声の大きな人の発言力が強くなる

⇒災害時だから我慢という意識が強くなる

人、物資、資金、情報、ノウハウなど「資源不足」の中では、女性、高齢者、障がい者、乳幼児、病弱者・・・の優先順位をつけても資源のトレードオフになる

従来型組織の資源調達力は弱体化？

地域防災を支えてきた、階層的な組織、男性型つながり＝自治体、町内会・自治会、向こう三軒両隣のような特定の「強い」つながり（ストロングタイズ）は弱体化している。

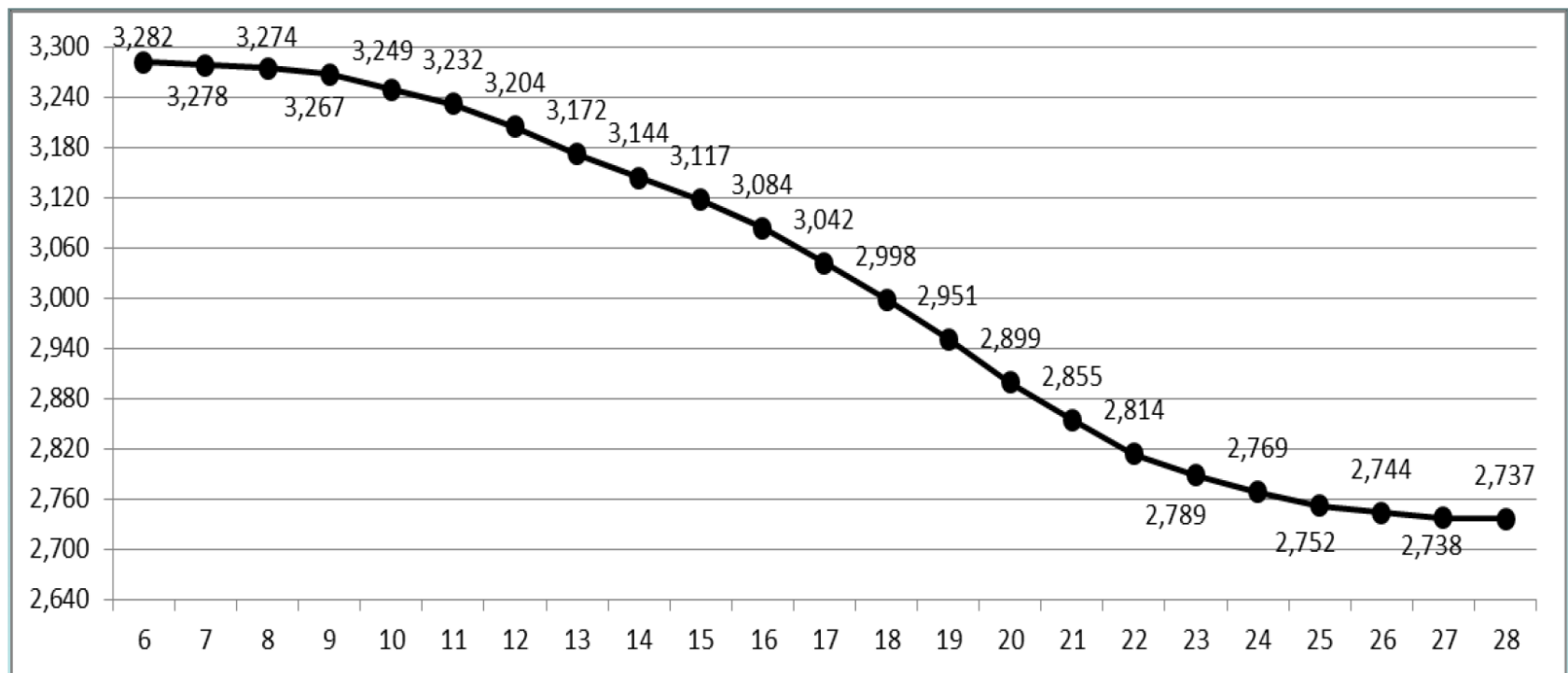
⇒従来型組織の資源調達力も弱くなっている？

公助には限界が・・・ 減り続ける自治体職員！

出典：総務省HP

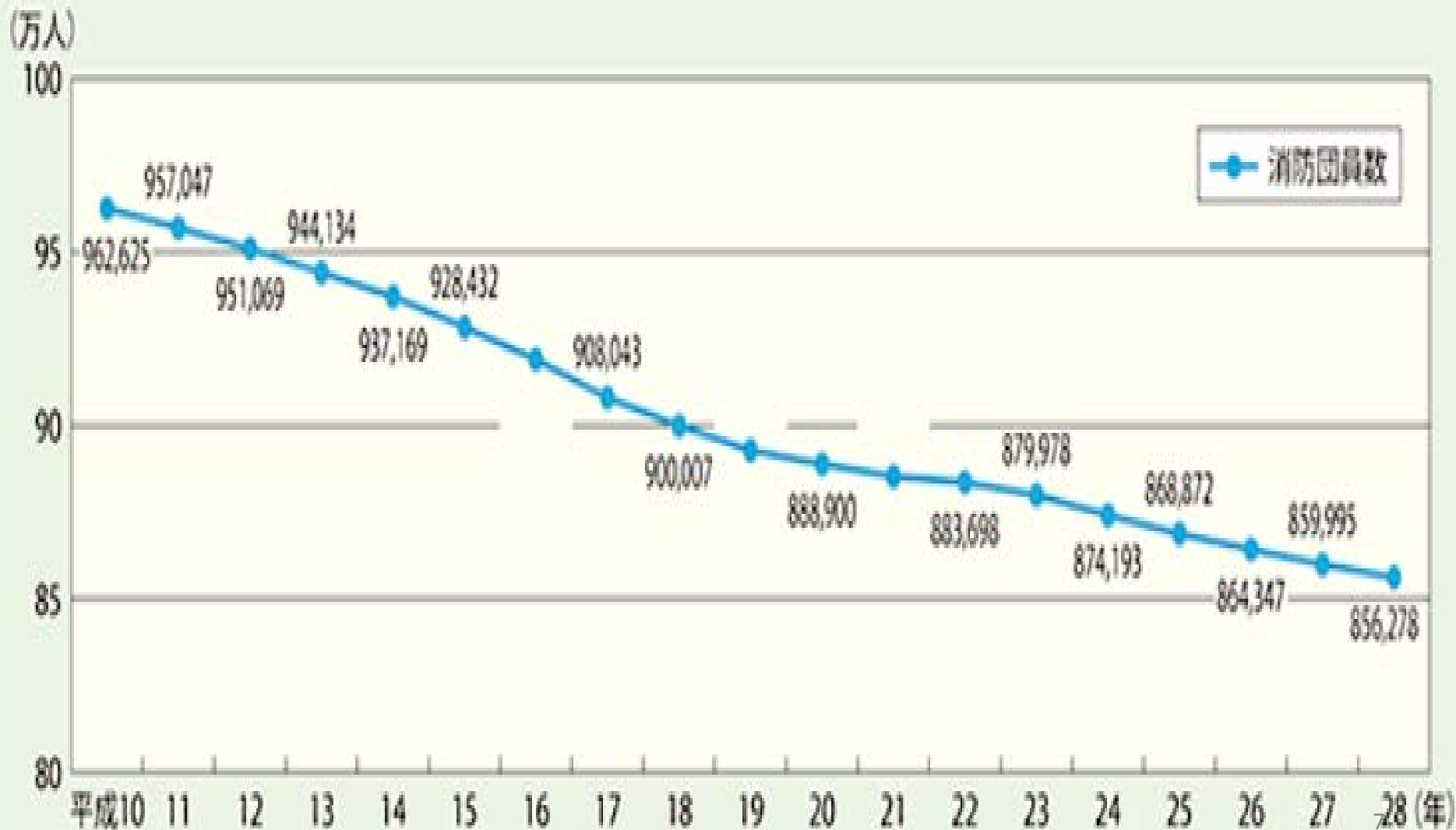
地方公共団体の総職員数の推移(平成6年～平成28年)

千人



減り続ける消防団員数！

出典：総務省消防庁HP

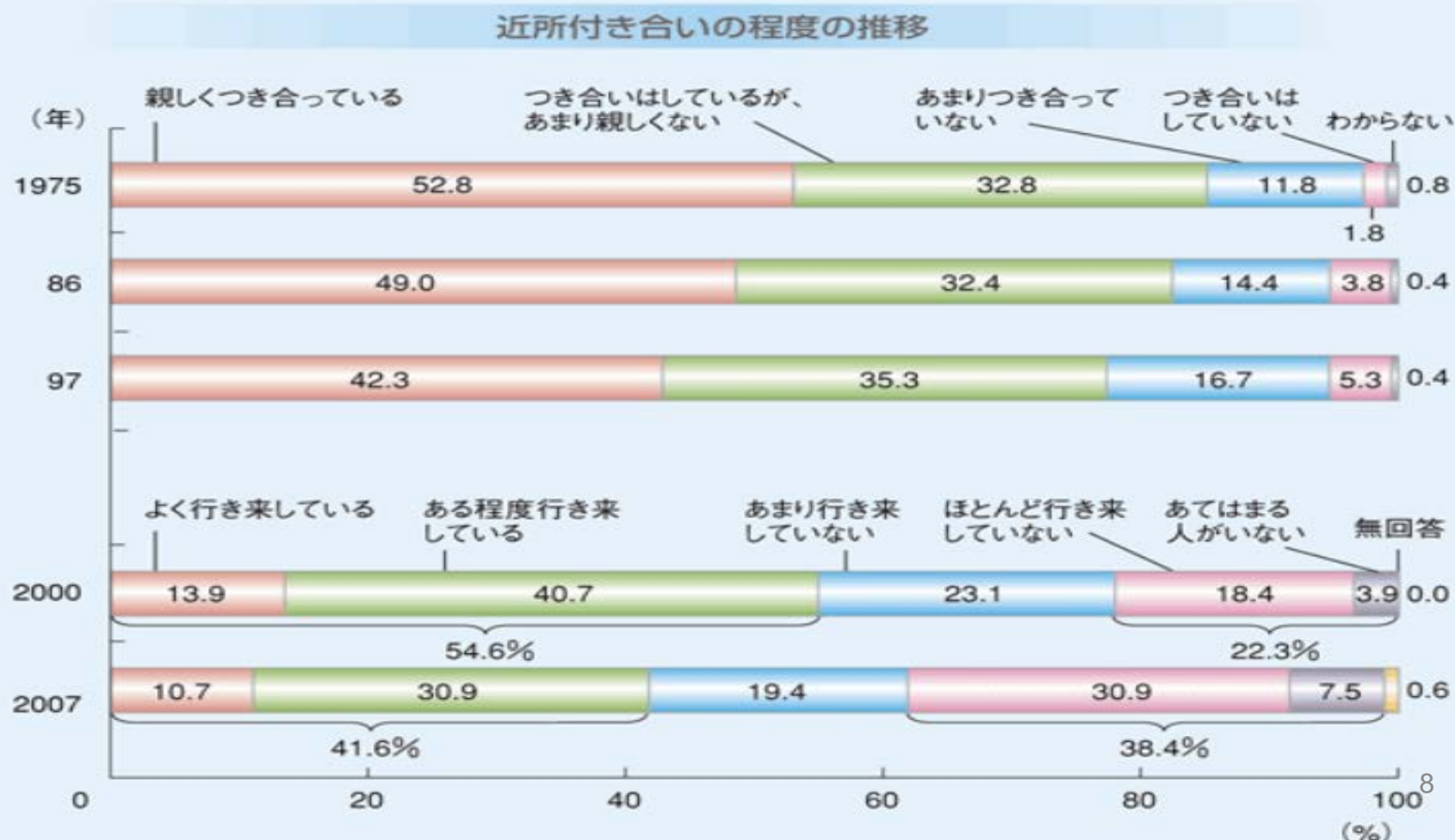


近所づきあいは減っている！

出典：平成19年版国民生活白書

第2-1-19図

近隣関係は希薄になっている

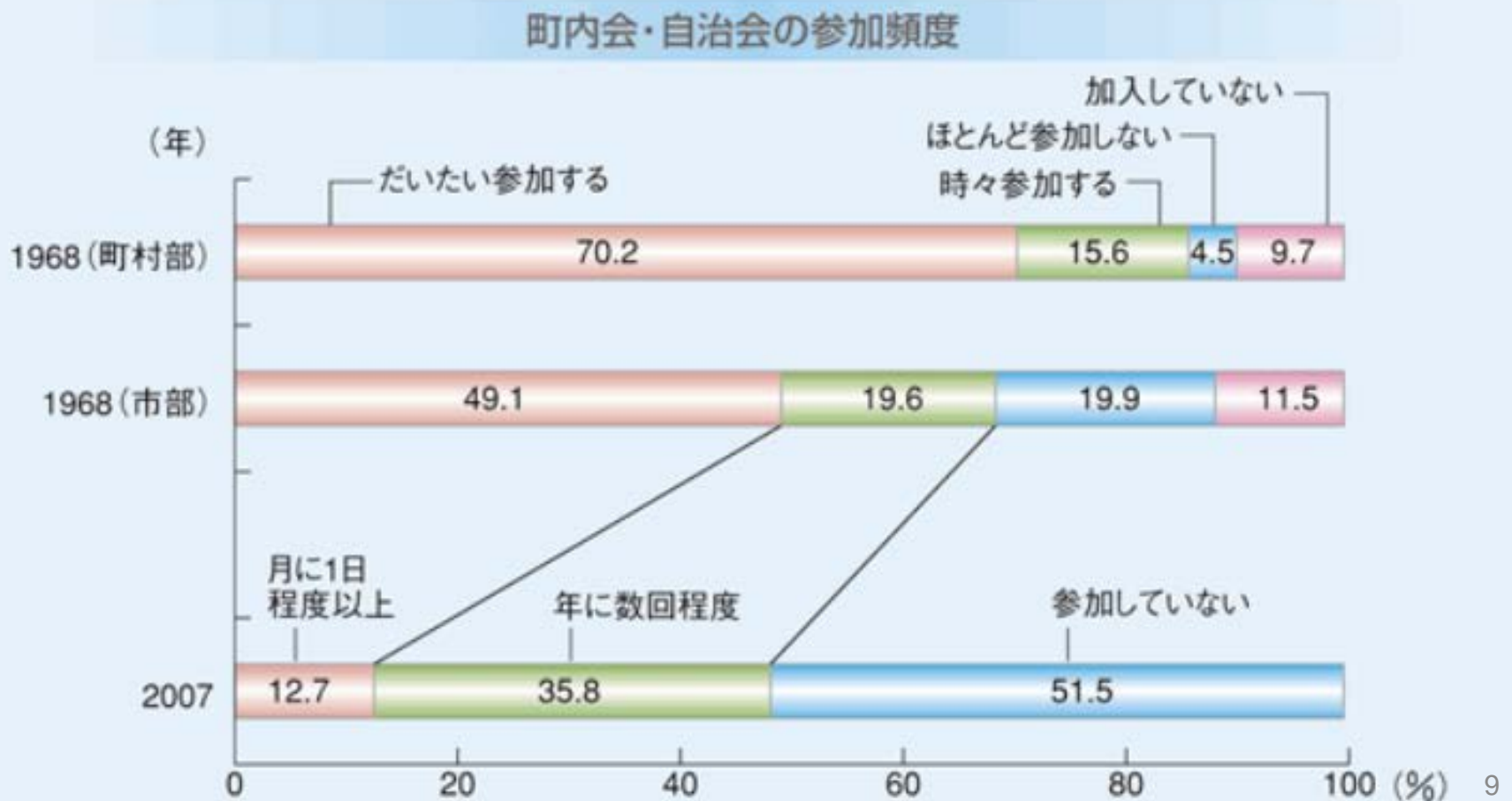


町内会自治会活動への参加も低下！

出典：平成19年版国民生活白書

第2-1-22図

町内会・自治会への参加頻度は少なくなっている



災害時の支援類型と今後の方向性

○制度的支援

公平、持続的、画一的、硬直性、時間がかかる、大量、公的コスト高い、調達先が特定

※課題：公平性にとらわれて、個別性、迅速さ、質、経費が配慮されにくい

○非制度的支援

公平にとらわれない、スポット的、個別性、柔軟性、迅速、質重視、公的コストが低い、調達先が幅広い

※課題：不公平感をもたらす持続性に欠けやすい

⇒被災地、被災者が非制度的支援を大量に調達することで、不公平感をもたらさない持続的な支援につなげる

ウィークタイズ社会での資源調達

非制度的で対等的な女性型つながり＝ICT、SNSの進展等により多様で広範囲で「ゆるい」つながり(ウィークタイズ)が増大。

※「ファンドレイジング」はウィークタイズの社会潮流の中で、共感により広く薄く資金を調達する手法

Readyforは夢への一歩を踏み出した実行者と、その思いに共感する支援者を支えるコミュニティとして、このコミュニティに関わる人すべてが私たちのサービスを快適に利用できるよう尽くします。このサービスから始まる共感の輪が、もっともっと多くの人々に届くようにあらゆる努力を惜しみません。誰もが夢を実現できる、そんな未来のために。(Readyforホームページ)

⇒地域防災の共感共苦により広く薄く資源を調達する手法と相似！

女性は**共感力**が高い傾向

○女性のジェンダー的特徴

「共感」能力、「他人を思いやる」能力、関係性重視、争いを解決するための規則確立より人間関係の継続優先、規則に対してより**実際的な態度(盲目的に既存の規則を守るのではなく、より適切に問題解決をするためには、好んで例外や新しい制度を確立する)**出典: キャロリ・ギリガン著, 岩男寿美子監訳『もう一つの声』川島書店, 1986

○リーダーシップ

男性型: 権威主義的、厳格な上下関係、階層性、論理的

女性型: 協力的、チーム、本能的・合理的

出典: マリリン・ローデン著, 山崎武也訳『フェミニン・リーダーシップ』日本能率協会、1987

○日本企業の女性管理職

他者への配慮を行う行動特性をもち、倫理性・行動性に優れ、革新的志向性

出典: 潜道文子「CSR型経営における女性的視点の意義」『産業研究(高崎経済大学附属産業研究所紀要)第42巻第1号, 2006

災害時の女性の活躍例

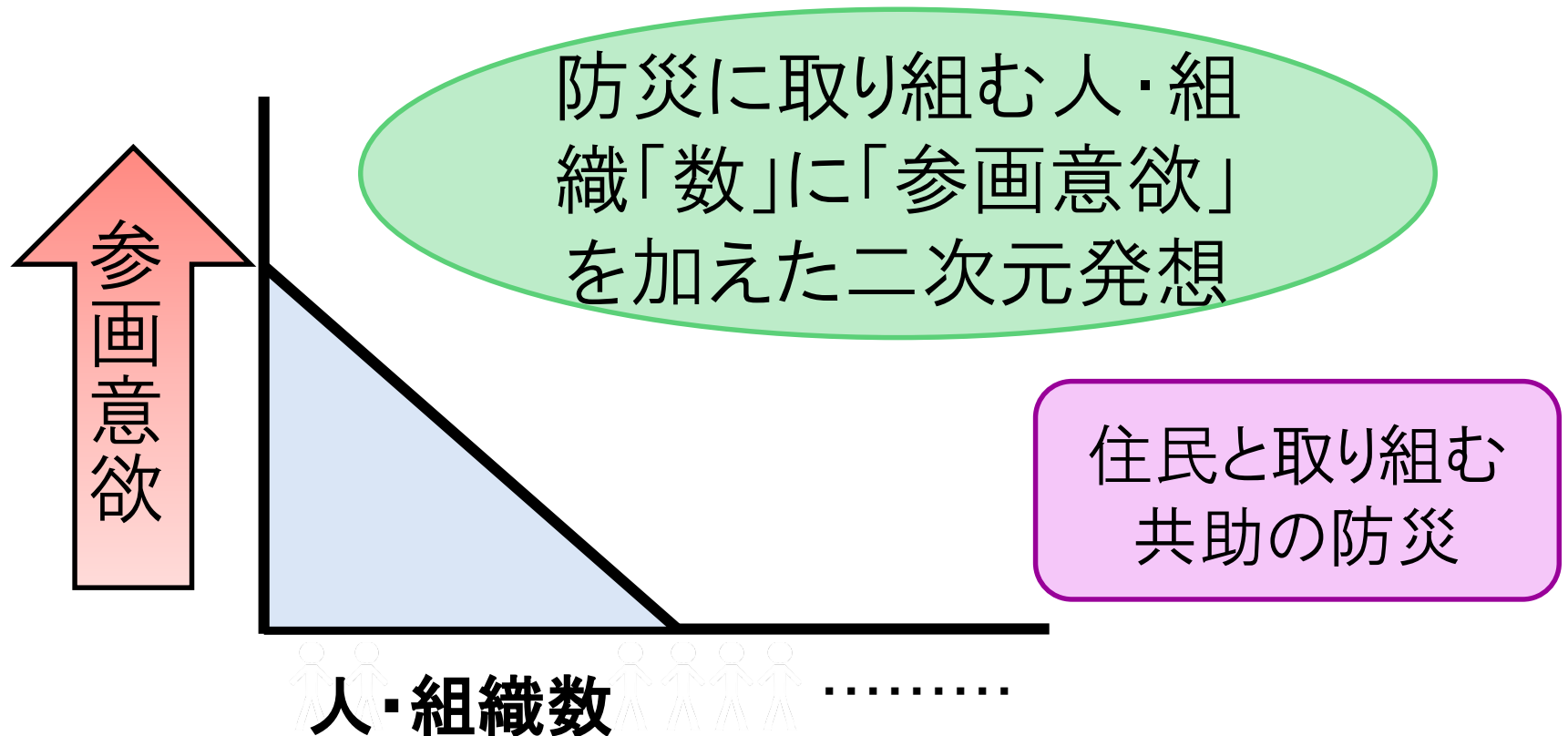
○料亭のおかみさんが、路上での朝会の提案。住民の生活支援情報を共有。その後、復興の担い手へ（石巻市）

○コミュニティの弱かったマンションで女性が1Fで女性の集まり。男性中心の理事会と連携して早期復旧工事实施（熊本市）

○女性が避難所の責任者を引き受け、全体に配慮した避難所運営を行う。その後、仮設住宅の自治会長に（益城町）

⇒女性リーダーの**高い共感力**が良い成果をもたらしている

災害に「も」強い地域とは何か？

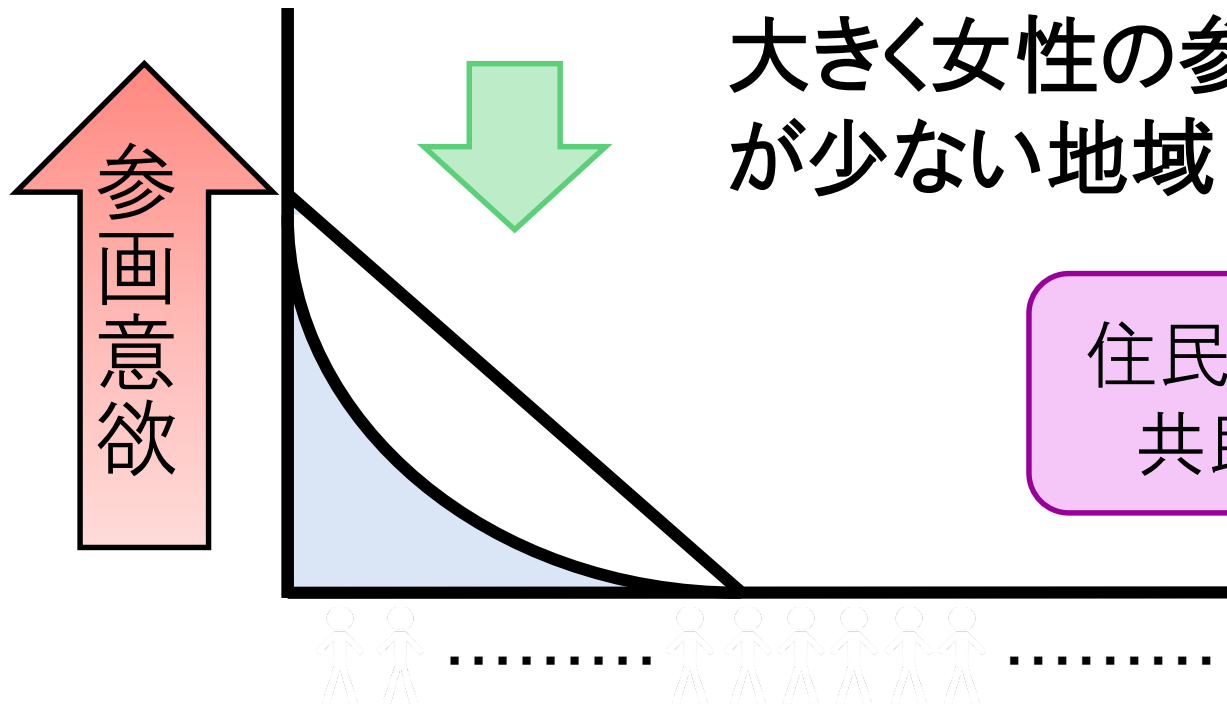


東海大学 河井孝仁
教授資料を鍵屋修正

災害に「も」弱い地域のイメージ

ジェンダーギャップが
大きく女性の参画意欲
が少ない地域

住民と取り組む
共助の防災



解決の方向性(1)

- ・防災力の強化には、人、物資、資金、情報、ノウハウなど**資源の調達力を高める**ことが不可欠
- ・性差が大きい地域は共感による資源調達が弱いのではないか
- ・ジェンダー平等が**共感を基盤**にした資源調達力向上に資するに違いない

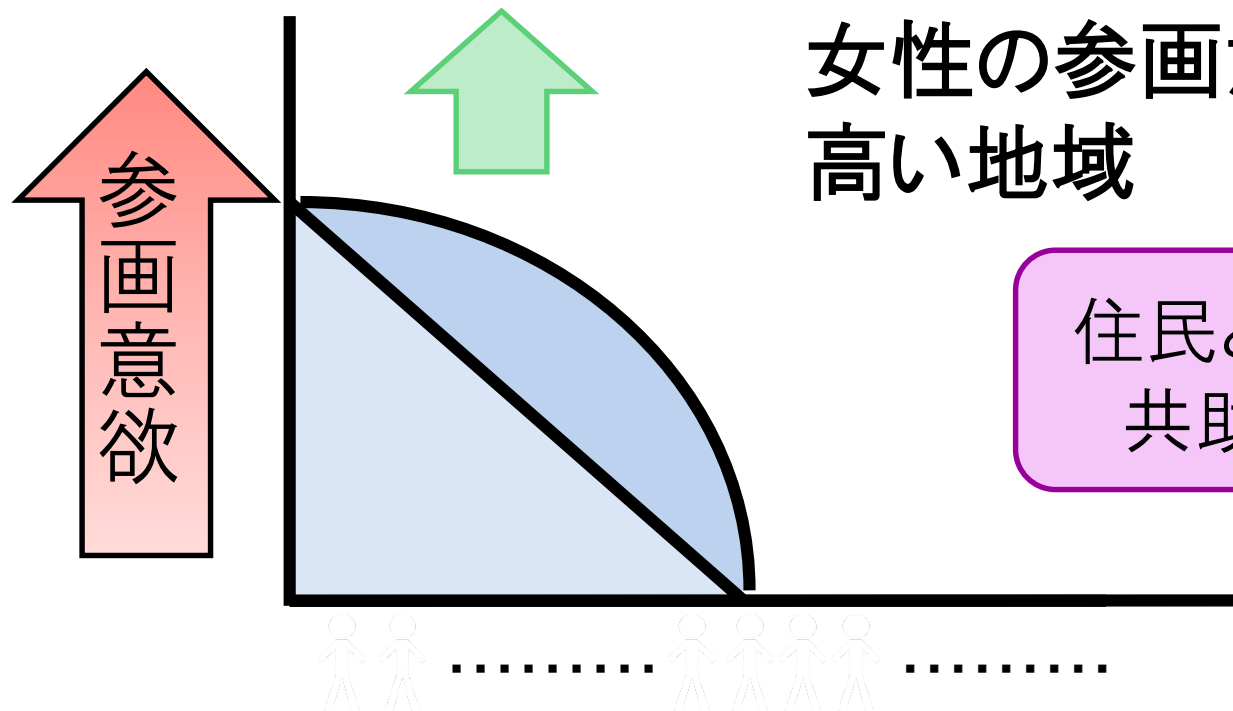


地域防災力の向上に直結する。内閣府防災がジェンダーと防災に取り組む主要な理由

災害に「も」強い地域のイメージ

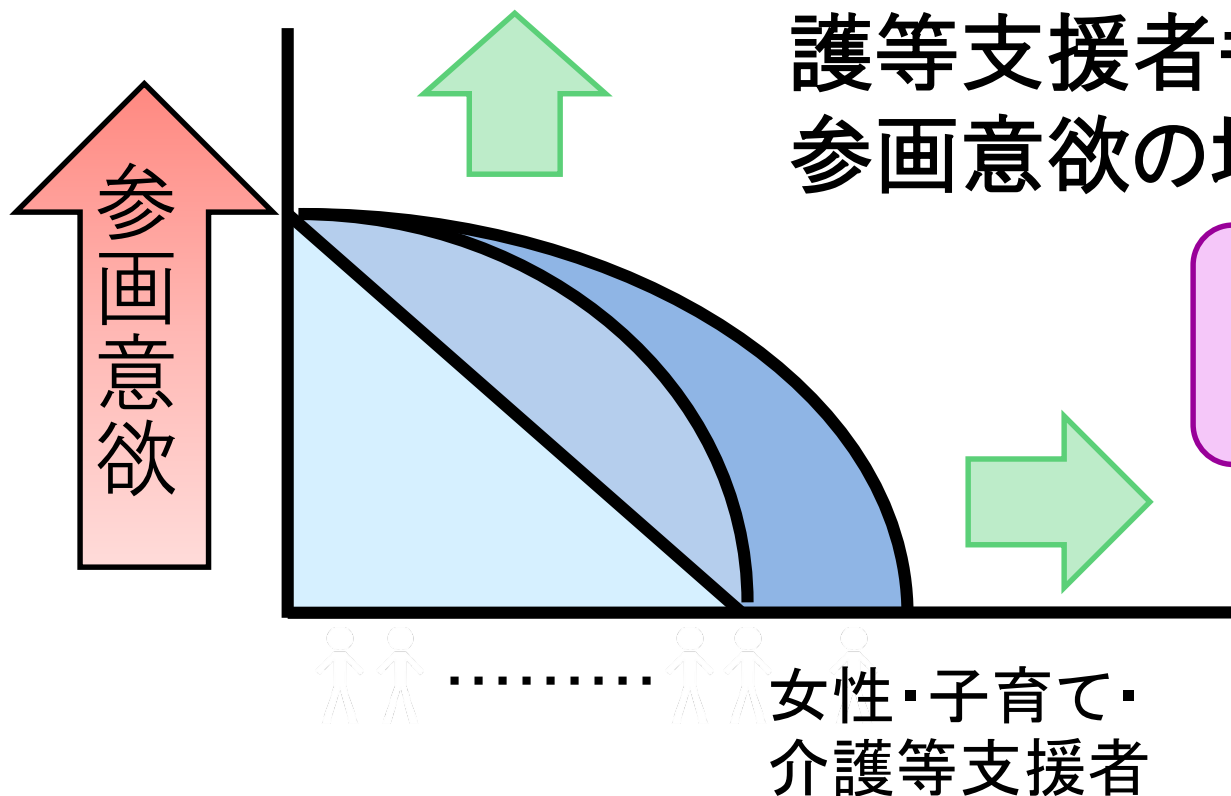
ジェンダー平等で、
女性の参画意欲の
高い地域

住民と取り組む
共助の防災



災害に「も」もっと強い地域のイメージ

女性支援、子育て、介護等支援者も含めて
参画意欲の増加



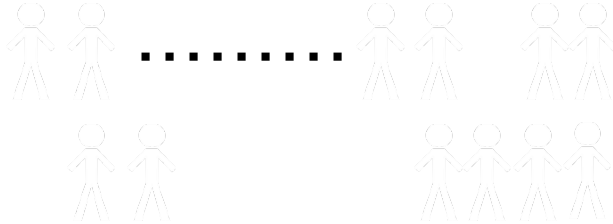
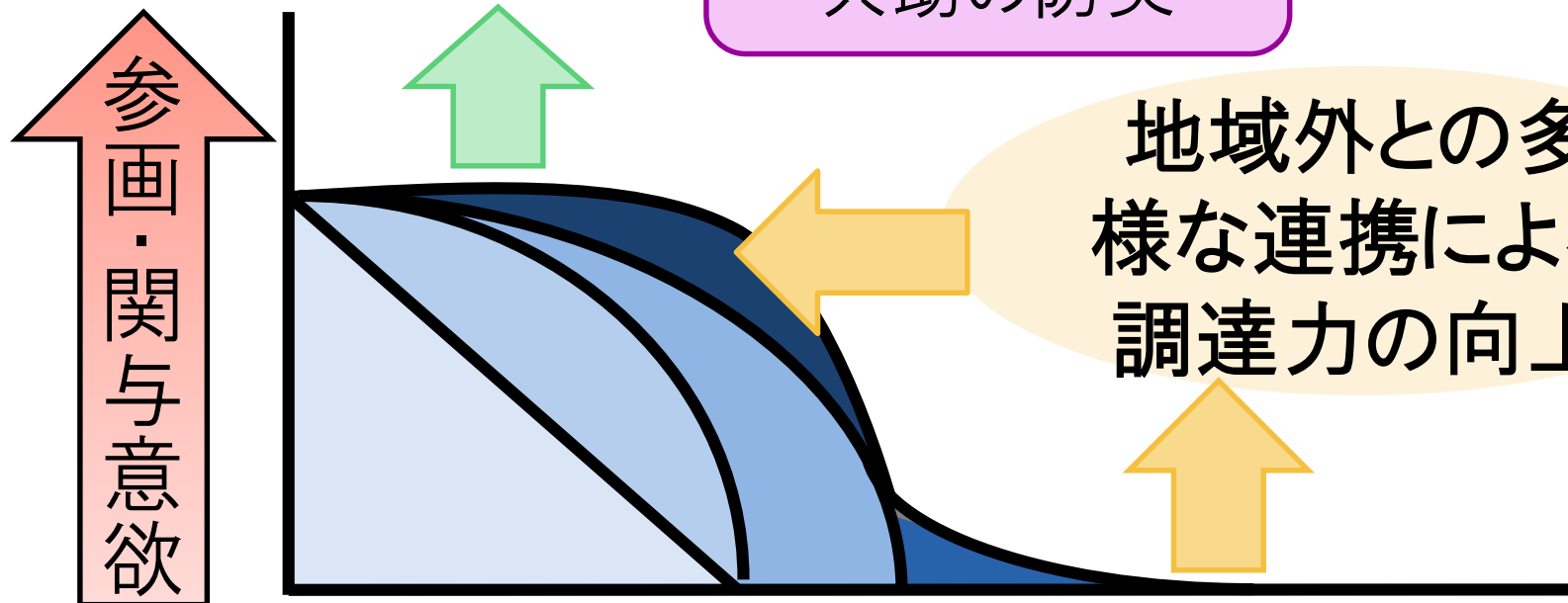
住民と取り組む
共助の防災

東海大学 河井孝仁
教授資料を鍵屋修正

災害に「も」もっともっと強い地域のイメージ

住民と取り組む
共助の防災

地域外との多
様な連携による
調達力の向上



多様な地域外
支援者

東海大学 河井孝仁
教授資料を鍵屋修正

解決の方向性(2)

- ・女性のスペシャルニーズを支援する支援団体との連携により、ニーズを充足する
- ・広く薄く、地域外の多様な連携により被災者及び支援者のスペシャルニーズを含めた資源調達を行う
- ・ジェンダー平等が**共感を基盤**にした資源調達力向上に資するに違いない



地域防災力の向上に直結する。内閣府防災がジェンダーと防災に取り組む主要な理由

地区防災計画に女性の 共感力の高さを活かす

地区防災計画＝市町村内の地区居住者及び事業者が行う自発的、かつ公的な防災活動計画

※事業者を含む⇒企業、NPO、ボランティア、学校、医療・福祉施設などもOK

※地区内の連携で強みが増大する

⇒女性の共感力の高さが連携を進める

地区防災計画策定の順序

1 魂を入れる

(共感。仲間づくり

⇒女性活躍)

2 仏を作る

(形。計画、モノの確保)

3 仏を磨く

(継続。訓練・見直し)

地区防災計画・マネジメント の具体的プロセス

※情報共有⇒**共感**⇒共働⇒共創

1 地区のリスクを知り、対象とする
災害を決める

2 地区の備えを知る

(まち、施設、防災計画・訓練、人の意識・・)

3 ワークショップで**共感を高め**、集
合知をつくる

4 計画、実行、検証、見直し

地区防災マネジメントで人づくり、コミュニティ・共感づくり！

- 災害時に最適な判断、行動ができる**人間力**
- 災害時に支え合える**コミュニティ力・共感力**
- 備蓄、連絡網、地域・行政連携など事前の備え

高知市下知地区の地区防災計画

- 平成27年度、3回のワークショップから作られたコンセプトは

子どもたちが伸び伸びと
遊べる、どこか懐かしい
まち、下知

下知の「幸せになる物語」づくり

中心に明るく開けた大きな公園があり、そこでは高齢者から赤ちゃんまで集える場所(はだしで歩ける芝生、キャッチボールのできる広場)。その公園のそばには川が流れ、泳いだり、魚つりも出来、また、母親たちが買物に出かける店がある。そして何世代も集えるガラスばりのコミュニティがあり、世代を越えた絆の深い安心・安全な町に住んで「幸せになる物語」

※ファシリテータは小学校の女性副校長

女性の共感力を活かした予防対策例

- ・情報収集と共有の場づくり、女性の位置づけ、役割を計画化しておく
- ・災害時要配慮者への日常の見守り、支援体制づくり
- ・女性のスペシャルニーズや資源調達の手法を検討し、地区内外の連携先とつながる
- ・男女共同研修、人材育成を積極的に進める

女性の共感力を活かした応急対策例

- ・災害関連死を防ぐため、厳しい立場にある人々の見守り、支援を行う
- ・女性が情報共有、発信を積極的に行う場、役割を設ける
- ・支援者団体等と連携して資源調達力を高める
- ・女性ニーズと全体の公平性に配慮しつつ、資源配分を行う

女性の共感力を活かした 復旧・復興対策例

- ・災害関連死、孤立死を防ぐため、見守り、支援を継続する
- ・子どもへの声かけ、支援など心のケア
- ・支援者団体等と連携して資源調達を継続する
- ・女性、生活者の視点が入ったまちづくりへを行う場、役割を設ける
- ・語り部などで災害教訓を伝える

おまけ：災害対策基本法、地域防災計画の目的は正しいか？

【災害対策基本法（地域防災計画）】

国土（地域）及び国民（住民）の生命、身体及び財産を災害から保護する

※ジョン・ロックの基本的人権は生命、自由、財産⇒自由を身体と言い換え？

災害対策基本法、地域防災計画の 目的の「身体」を「自由」に変えよう！

自由には人間らしさや自己実現の追及を尊重する思想が含まれる。また、自分が自由であるためには、お互いに認め合い他者を尊重しなくてはならない。

⇒「身体」から「自由」へ2文字変えるだけで、
災害時においても自由という「人権」を尊重
する規定になる

**※ジェンダー平等を防災から
実現しよう！**

必要なデータとファクト

災害時は、性差により課題が増幅、顕在化する



資源不足の中で性差の課題解消を図るよりも、**資源調達力**（受援力）が不足している課題に置き換える



広く薄く調達する**非制度的支援**の拡充が重要①



「**共感**」をいかに社会に広げられるかが肝②



性差が大きい地域ほど**資源調達力が弱い**③
共感力の高い人（女性）、地域が**資源調達力の要**④



ジェンダー平等は地域防災力を高める